

科目名	教育実習（幼稚園Ⅱ）		担当教員	由田 新・伊藤 恵里子 大村 あかね		
			担当形態	複数		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館	単位数 授業形態	3単位	実習	開講時期	集中
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <p><子ども理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園において、子どもがどのように学び、生活をし、どう成長を遂げるのかなどその背景を含めて具体的に考察する。その理解にもとづき、幼児と適切に関わることができる。 <p><職務の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 保育者の援助と、その基となる保育観や意図を理解する。 <p><実習園の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者とのかかわり、地域の幼児教育のセンターとしての使命など、様々な支援を理解する。 <p><保育の過程の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 保育の過程を理解し、保育の計画立案、実践、自己評価、改善を試行することができる。この過程を通し、保育に必要な基礎的技術や情報機器の活用を身につける。 <p><自己課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 実習を通して自己の良さや課題、価値観などに気づく。 <p>■授業の概要</p> <p>本実習は、幼稚園教諭免許状を取得するために必要な実習の1つであり、2年次6月に3週間という長期に亘って実施されます。実習としては、教育実習Ⅰ・保育実習Ⅰに続くステップとなります。子ども理解、職務理解に加え、保護者への支援についても学びます。各自の実習課題をきちんと意識して臨むことが必要となります。</p> <p>■準備学習</p> <p>教育実習（実習指導）の受講および実習園からの課題</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前指導で立てた目標の達成状況・実習の取組み状況 — 40% 実習記録 — 30% 実習園からの評価 — 30% <p>※単位認定の前提として、実習事前事後指導を学修している事が条件となります。</p>						
参考文献	「幼稚園教育要領」文部科学省 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 実習を規定時間行うことが必要となりますが、規定時間を満たしたとしても、実習の状況等により、単位の修得ができない場合があります。 教育実習（幼稚園Ⅰ）の単位を修得していない場合、履修出来ません。 <p>【課題等のフィードバック方法】 実習記録はコメント等を記入して返却します。</p>			
			卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修	幼保	教職に関する科目